

## 名古屋高速道路の降雪・路面凍結対応について

名古屋高速道路では、気象及び道路面の状況に応じて、凍結防止剤の散布や降雪時の除雪作業を実施しております。

積雪が多く安全走行の確保が困難な場合は、交通管理者と協議して通行止めを実施し、除雪作業を行います。道路を通行止めする際には、お客様には大変なご迷惑とご不便をおかけすることとなりますが、その際にも、一刻も早い解除を目指して、全力をあげて除雪作業に取り組んでいきますので、お客様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 1. 通行止め

降雪が予想される場合や、気温が低く路面の凍結が予想される場合は、事前に道路面に凍結防止剤を散布し、路面の凍結を抑えております。

しかしながら、降雪量が非常に多くなり、積雪・凍結により交通事故・交通渋滞が多発または続発する恐れがある場合などは、お客様の安全を第一優先として通行止めを行います。

### 2. 通行止め解除

次に、少しでも早くお客様にご利用いただくために除雪作業を行います。地上の一般道路の路面の温度が一般的には気温より高いのに対して、名古屋高速道路はほとんどが高架構造であり地面より高い位置にあること、また、鋼鉄製の橋梁がほとんどであるため、路面の温度が気温よりも5℃程度低く、除雪した後に路面が凍りつき走行がより危険な状態になることがあります。

そのため、除雪作業が終わっても路面凍結がないことを確認してからの通行止め解除となります。このようなことから、明け方や気温が低い場合などは、雪が降っていなくても通行止め解除ができないこともあります。

### 3. 情報提供

降雪のある場合、路面凍結の恐れがある場合、視界不良の場合、凍結防止剤を散布する場合等お客様に注意をお願いする必要がある場合、ならびに通行規制などお客様の通行へ大きな影響がある場合は、注意のお願いなどを道路情報板に掲出してあります。



入口情報板

#### 4. 除雪作業

除雪作業は、通行止めを行った後、降雪の状況を判断して次のように除雪車又は人力により実施します。

① 降雪状況（平成20年2月9日 積雪13cm）

② 路面に積もった雪を除雪車で除雪します。



③ ④ 料金所付近や出入口・ジャンクションの分合流部など、除雪車では細かな除雪作業ができないため、人力で除雪作業を行います。



- ⑤ 集めた雪をダンプトラックに積み込み、雪捨て場に運びます。
- ⑥ 雪が多い場合は、仮置き場として交通量の少ない東山線などの高速本線を利用することもあります。



⑤ 雪の積み込み状況



⑥ 雪の仮置き場の状況

このように、雪が降った場合、道路の通行を確保するため夜を徹して作業を実施しますが、一般道路より路面温度が低く、凍りやすく、雪が溶けにくいことや、雪捨て場を確保しづらい名古屋高速道路の特性から、どうしても作業には時間がかかることをご理解頂きますようお願いいたします。

